

## GfK 2019年12月の自動車タイヤ販売速報

2020/1/28



※全国のカー用品店、タイヤ専門店（メーカー系列を除く）、ガソリンスタンド、インターネットの販売実績を元に市場規模相当に拡大推計

“ 2019年12月の自動車用タイヤ販売は、販売本数前年比19%減、金額前年比も同じく19%減となった。暖冬であったことが販売減の主要因として挙げられる。特に冬タイヤの販売減が目立ち、本数前年比で25%減となった。サイズ別の販売動向をみると、販売上位10サイズすべてにおいて3か月連続で前年同月の販売を下回った。ただし、最も販売量の多い155/65/14は、同サイズを採用している自動車の増加をうけ同11%減となり、タイヤ全体と比較すると縮小幅は小さかった。タイヤ全体の税抜き平均価格は、前年同月からわずかに上昇し10,400円となった。

”

## GfK 2019年12月の自動車用エンジンオイル販売速報

2020/1/28

販売量（リットル換算）前年比



-5%

販売金額前年比



+2%

税抜き平均価格



+7%

※全国のカー用品店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットの販売実績を元に市場規模相当に拡大推計

“

2019年12月の自動車用エンジンオイル販売は、販売量（リットル換算）ベースで前年比5%減となった。ベースオイル別の販売動向をみると、全合成油は同1%増、部分合成油は同6%増と前年を上回ったものの、鉱物油は同11%減となり全体の販売を押し下げた。

1リットル当たりの平均価格は、前年同月から10%上昇した鉱物油をはじめ、いずれのベースオイルも上昇傾向が続いた。エンジンオイル全体としては前年同月から7%上昇し740円となった。その結果、販売金額は前年比2%増とプラス成長に転じた。

”